



はじめての漢方診療 十五話 [WEB 動画付]

第2版

三瀧忠道＝著

定価 5,940 円／B5 判・320 頁／医学書院／2021

平易でわかりやすいと評判の漢方入門書の待望の第2版。臨床例をあげながら、漢方医学的診断・治療が丁寧に解説されてゆく。決して漢方理論を振りかざしていないのに、本書を読み終わると漢方医学の理論体系が余すところなく理解できる仕掛け。煎薬でがっちり治したい読者も、西洋医学とエキス製剤を併用したい読者も、どちらも満足の内容。漢方診療をめぐる、よくある質問、よくあるエピソードも加わって、ミツマ先生渾身の改訂。



はじめての漢方診療 ノート

第2版

三瀧忠道＝著

定価 3,740 円／B5 判・160 頁／医学書院／2021

上掲書『はじめての漢方診療 十五話 [WEB 動画付] 第2版』を参照し学びながら、自作ノートが完成する、漢方を学ぶすべての人のための「ノート」第2版。臨床写真も加わって、漢方診療の要点がまとめられているといっても過言ではない貴重な1冊。ミツマ先生と一緒に学び、「私だけのノート」をつくろう！



『検査と技術』2021年9月号 (Vol.49 No.9) 増刊号

病態別 腹部エコーの観察・記録・報告書作成マスター

八鍬恒芳、丸山憲一＝企画

定価 5,500 円／B5 判・186 頁／医学書院／2021

腹部エコー検査は、観察する臓器が多く広範囲の走査が必要、かつリアルタイムに病態を推測しながら検査を進めていく必要がある。病態に則した腹部エコー検査をマスターするには、有意所見と思われる画像に遭遇した際、一般的な検査手順だけでなく、病態に則した“プラスα”の検査手技および、必要な画像を精度よく効率的に記録する方法を習得することが肝要だ。

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート(p.1312)にご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



ここからだにチームでのぞむ 慢性疼痛ケースブック

明智龍男、杉浦健之＝編著

定価 4,730 円／B5 判・304 頁／医学書院／2021

「こんな時どうすればよいのか?」「他の人はどうしているのだろうか?」。慢性疼痛診療は困り事の連続だ。なくならない痛み、患者や家族との関わり方、確信のないゴール設定、この介入は適当なのだろうか……。臨床実践に直結する定式化された方法がないなかで参考になるのはエキスパートによる症例のみ! 困った時のヒントが、読めば必ず見つかる。痛み診療の新時代へ踏み出そう。



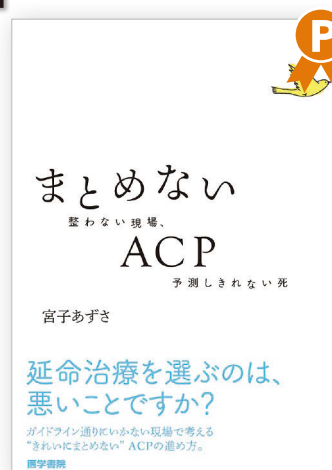
標準的医療説明

インフォームド・コンセントの最前線

一般社団法人 内科系学会社会保険連合＝編

定価 5,940 円／A4 判・368 頁／医学書院／2021

特に説明が難しいとされる疾病や病態、検査や治療について、説明すべきポイントを外さずに、わかりやすく、要領よく患者に説明するための手順を示した1冊。内科系疾患や悪性腫瘍のみならず、精神疾患・小児疾患・産婦人科疾患に至るまで取り上げ、各領域の専門家が説き起こした。最新の医療知識と手技を反映するとともに、担当医療者が患者にわかりやすく説明できるよう統一した形の説明手順を用いて示している。



まとめない ACP

整わない現場、予測しきれない死

宮子あずさ＝著

定価 2,200 円／A5 判・168 頁／医学書院／2021

「延命治療を選ぶのは、悪いことですか?」。最期をどこでどのように迎えたかを話し合うプロセス＝ACP。ACPが延命治療を諦めさせるためのものであってはいけない。いかに死が近づいている人であっても、その人が生きようとする気持ちを支えたい。予測通りにいかない人の生き死にを、看護師として家族として見てきた著者が考える、「無理にまとめないACP」の進め方。